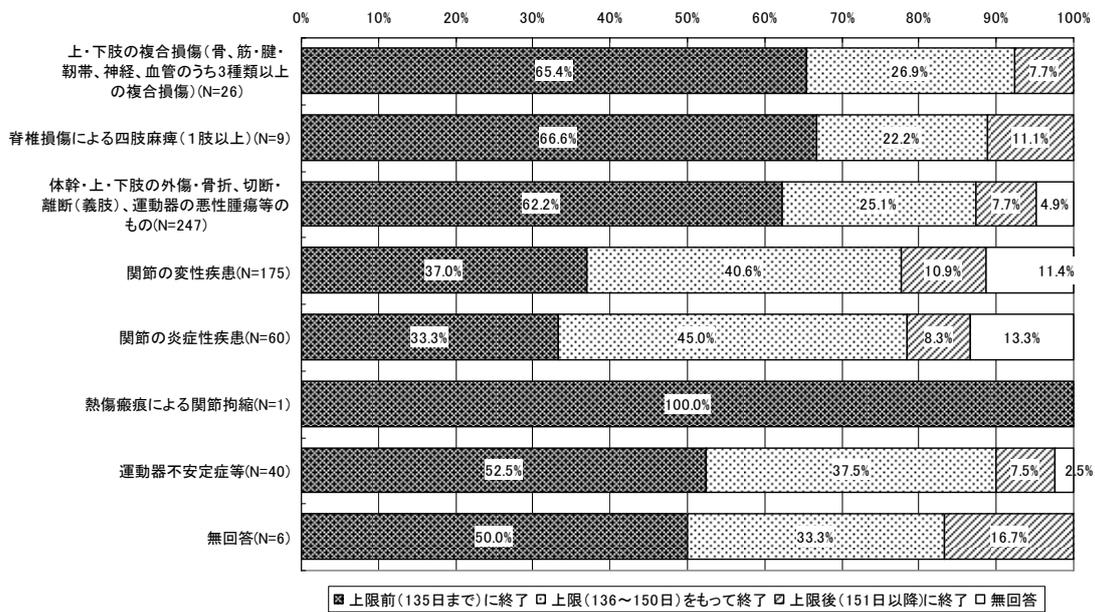


## (2) 算定対象疾患と算定期間

平成18年4月以降に調査対象医療機関でのリハビリテーションを開始した患者における算定対象疾患は、「体幹・上・下肢の外傷・骨折、切断・離断（義肢）、運動器の悪性腫瘍等のもの」（247件）が最も多く、次いで「関節の変性疾患」（175件）となっている。10件以上のケースのある算定対象疾患について、算定日数の上限をもって終了した患者の割合をみると、「関節の炎症性疾患」（45.0%）が最も多く、次いで「関節の変性疾患」（40.6%）となっている。

図表 6.6-4 算定対象疾患と算定期間



## (3) 除外疾患

### 1) 除外疾患の有無

除外疾患の有無についてみると、9.4%が「該当する」としている。

図表 6.6-5 除外疾患の有無

